

平成30年度秋季特別展 シリーズ・現代の盆栽家Ⅱ

木村正彦

—あそびの領分—

Special Exhibition
Contemporary Bonsai Masters II

Masahiko Kimura

Playing with Bonsai
The Origin of His Works



檜 展示期間：B

自由で自在、あそびに潜む、創作の美

平成30年
2018

10月26日(金)～11月21日(水)

※展示A(10/26～10/31、11/9～11/14)・展示B(11/2～11/7、11/16～11/21)、各9席の入替制

【休館日】木曜日

【会場】さいたま市大宮盆栽美術館 コレクションギャラリー

【主催】さいたま市大宮盆栽美術館

【協力】株式会社近代出版

【後援】NHKさいたま放送局、埼玉新聞社、JR東日本大宮支社、テレ玉、
一般社団法人日本盆栽協会、東日本高速道路株式会社関東支社



さいたま市

大宮盆栽美術館



盆栽家 木村正彦

いまなお記憶に新しい「第8回世界盆栽大会inさいたま」(2017年)において、日本を代表して記念デモンストレーションを行った盆栽家の姿があった——木村正彦、盆栽のプロ作家展における最高賞を数多く受賞するほか、名木の再生や希少な山採り素材に手腕をふるい、その卓越した技術力から“奇跡の腕”とも評される世界的盆栽家である。

木村には、盆栽の管理と仕立ての依頼が大半を占めるプロの盆栽師としての仕事の一方で、ある景色を求め、販売の意図もなく黙々と作り続けている盆栽がある。それは中国の奇岩景勝地・黄山に見た、険しい断崖に生きる樹木山水の景であり、荘厳さすら覚えた山間の岩場にたたずむ木々の姿である。木村自ら“あそび”と称して、ひとり作り続ける創作盆栽だ。

木村の述べた「あそび」とは、プロフェッショナルを極めた盆栽師だからこそ対極に現れた、自由なる精神に根をもつ創作の始原である。職業を離れた「あそび」の中にこそ、盆栽家・木村正彦の真の姿がある。

現代最高峰の盆栽家を紹介する特別展「シリーズ・現代の盆栽家」第2回展では、あそびに潜む著名盆栽家の創作の境地を紹介したい——木村正彦の“あそびの領分”である。



初公開！一位(イチイ)の超大型盆栽
※鉢は合成です 展示期間：A・B



竹下登元首相命銘、真柏「登龍の舞」
展示期間：A



中国・三峡の景 真柏
展示期間：A



中国・黄山の景 真柏
展示期間：B

■ イベント・インフォメーション

木村正彦 創作盆栽デモンストレーション

木村盆栽の代名詞となった、本格的な石付き創作盆栽の公開制作です。

- 日時 10月28日(日) 13:30~15:30
- 会場 ロビー特設会場
- 入場無料(60席程度)、13時より先着順(自由席、立ち見可)

秋季特別展ギャラリートーク

- 日時 11月11日(日)、11月17日(土) 各日13:30~
- 担当 展覧会担当学芸員
- ※当日有効の観覧券をご用意の上、ロビーにお集まりください。

アーティストトーク 木村正彦

木村正彦さんが、出品盆栽をはじめ、これまで手掛けた伝説的な名樹の数々を語ります。

- 日時 11月4日(日) 13:30~15:00
- 会場 講座室
- 定員 60人 ※要事前申し込み

応募方法

往復はがきに【①アーティストトーク、②氏名、③郵便番号・住所、④電話番号】を明記の上、10月15日(月)必着にて当館まで。応募者多数の場合は抽選。結果は全員に連絡します。

開館時間 3月~10月：9時~16時30分
11月~2月：9時~16時
*入館は30分前まで

休館日 木曜日(祝日の場合は閉館)、
年末年始、臨時休館日あり

観覧料 一般…………… 300円(200円)
高大生・65歳以上の方 …… 150円(100円)
小中学生…………… 100円(50円)

*障害者手帳をお持ちの方と付き添いの方一名は半額
*()内は、20名以上の団体料金



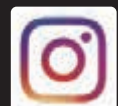
電車利用 JR宇都宮線「土呂駅」下車 東口より徒歩5分
東武アーバンパークライン「大宮公園駅」下車 徒歩10分
首都高速埼玉新都心線「新都心西」出口より約6km
東北自動車道「岩槻」出口より約9km
駐車場：一般車両39台(2時間まで無料)
大型車3台(860円)、障害者用2台(無料)



さいたま市

大宮盆栽美術館

〒331-0804 埼玉県さいたま市北区土呂町2-24-3
TEL 048-780-2091 FAX 048-668-2323
<http://www.bonsai-art-museum.jp>



このチラシは32,000部作成し、1部当たりの印刷経費は5円です。